

令和6年度 学校評価(年間) 長崎県立佐世保中央高等学校(通信制)

学校教育目標	自己肯定感と他者の価値の理解に基づいて、自他の人権を尊重して誠実に生きる生徒を育てる【誠実】
	学び成長する喜びを知り、自律的に学び続けることのできる生徒を育てる【自律】
	自らの成長と社会への貢献のために、周囲と協力できる生徒を育てる【協力】

評価(4段階) 4:十分に達成できている 3:おおむね達成できている
2:どちらかというとは達成できていない 1:ほとんど達成できていない

学校経営方針等について

		評価	昨年度	
学校経営方針	1	安心して安全に学べる教育環境整備に努め、絆づくりと居場所となる学校づくりに努める。	3.4	3.2
	2	生徒の自己肯定感と他者の価値への理解を醸成するべく、人権教育、特別支援教育、平和教育及び教育活動全般における道徳教育を推進する。	3.2	2.9
	3	教員各自が教育実践の向上と研修に努め、生徒の学びの質の向上と進路実現に努める。	3.0	3.1
	4	ボランティア活動やさわやか挨拶運動等を推奨し、他者と協力する喜びを生徒に体感させる。	3.2	2.9
	5	学校に対する生徒・保護者の誇り、地域からの信頼のために、時宜を得た広報活動を展開する。	3.1	3.3
重点目標	6	個々の生徒状況の把握に努め、丁寧なサポートを通して、学習・進路指導の充実を図る。	3.3	3.7
	7	学校行事等への積極的な参加を通して、自己の再発見を促し、互いの交流の中で社会性や自己肯定感を高め、民主主義社会を担う成人としての素養を育てる。	3.2	2.8

教科指導について

		評価	昨年度	
教科指導	8	自宅自習の手助けとなるような面接指導計画とその内容の検討を行う。	3.2	3.3
	9	教科書と学習書を活用しながら、自宅でのレポート学習ができるようなレポート内容の検討と作成を行う。	3.5	3.2
	10	「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」を踏まえた学習指導(個に応じた添削指導・面接指導・多様なメディアの利用等)を推進する。	3.0	3.2

校務分掌等について

		評価	昨年度	
教務管理部	11	レポート・面接指導の在り方や指導について、より教育的効果が上がるよう改善に努める。	3.6	3.4
	12	既存の業務の見直し・改善を行い、簡略化・効率化に努める。	3.4	3.1
	13	校内外に向けて通信制の情報を発信し、システム等の周知に努める。	3.4	3.1
	14	業務を円滑に進めるために研修会を開く等、職員へのサポートを積極的に行うように努める。	3.7	3.0
	15	生徒の学習状況を適切に把握できるシステムづくりを確立し、スムーズな運用に努める。	3.6	3.1
生徒支援部	16	生徒への進路情報の発信と働きかけに努める。	3.3	3.1
	17	生徒一人ひとりに合った進路選択とその実現のため、情報の共有を図る。	3.0	3.1
	18	基本的な生活習慣の向上を推進する。	2.6	2.8
	19	教育相談・学年団等と連携をとりながら指導に努める。	3.3	3.5
	20	生徒会活動を通して、生徒の自主的な活動の充実を図る。	3.5	3.5

生徒支援部	21	自己の健康状況を把握し、健康的な生活習慣を確立させるとともに、自己管理能力を向上させるよう支援する。	2.8	3.0
	22	学校環境衛生の管理に努める。	3.1	2.8
	23	生徒個人情報の窓口として、総括と整理に努める。	3.2	3.4
	24	SSW、SC 制度の効果的な利用促進を図る。	3.4	3.5
	25	支援を必要とする生徒の情報共有とその支援の充実に努める。	3.1	3.5

学年経営について

			評価	昨年度
1 学年	26	通信制のシステムを理解したうえで、計画的に行動できる力を身に付けさせる。	3.0	3.0
	27	学校行事等への参加を促し、他者と交流する機会を積極的に設ける。	3.2	2.8
	28	総合探究や面談等を通して自己を見つめ直し、自己肯定感を高める支援をする。	2.8	2.8
2 学年	29	生徒理解に努め、生徒・保護者等との信頼関係を作る。	3.5	3.2
	30	生徒が自律して学習等に取り組むよう個に応じた指導・支援を行う。	3.3	3.0
	31	学校行事や清掃等の活動に積極的な参加を促し、生徒一人ひとりの自主性及び協調性を育てる。	3.2	3.0
3 学年	32	学校行事、特別活動、HR活動等への取り組みを通して、帰属意識・協働精神を涵養する。	3.5	3.4
	33	生徒との信頼関係を構築し、計画的に学習に取り組ませて卒業を目指す。	3.3	2.6
	34	生徒一人一人に応じた進路実現を目指す。	3.3	3.0

教育環境について

			評価	昨年度
施設・設備の管理	35	施設・設備の安全点検や補修を定期的に行う。	3.3	3.1
学校環境の整備	36	面接指導日の清掃時間だけでなく、日頃から校内の環境美化に努める。	3.3	3.2
情報基盤の整備・情報	37	パソコンによる校務処理を積極的に推進し、データの共有化を図る。	3.4	3.4
	38	ホームページを定期的に更新し、学校情報の積極的発信に努める。	2.3	3.1

開かれた学校について

			評価	昨年度
地域や関連機関との連携	39	近隣地域の高校・中学校との情報交換を積極的に行い、連携を強める。	2.7	2.9
学校環境の整備	40	充実した生涯学習講座の実現に努め、広く活動内容をPRする。	3.0	3.4

いじめ防止について

			評価	昨年度
いじめ防止基本方針に基づく取組	41	受容を心がけるとともに、生徒とのふれあいを深め、いじめが起きにくい環境づくりに努める。	3.3	3.2
	42	いじめ調査、三者面談を定期的に行い、早期発見に努める。	3.2	3.2

平均 3.2 (昨年度 3.1)